

愛知県ティーボール連盟 ティーボール規則

1. 施設と用具

- ① 塁間は16mとし、外野は両翼40mとする。
- ② 用具：ナガセケンコー11インチセット(11インチボール)バットはL・M・S 使用自由。グローブ使用は自由。スパイクは禁止する。ヘルメットは使用しない。
- ③ バッターズサークル
本塁プレートの角を中心として、半径3mの円を描く。打者はこのサークル内で打撃を行う。
- ④ バッティングティー
バッティングティーは、本塁プレートの後方30cmに置く。

2. 競技者

- ① 競技者の数
登録選手は1チーム10人以上20人までとし、小学校4年生以下の子供で構成するが、女の子に限り6年生までの出場を認める。また、競技者のうち母親2名は常時出場し、両チームの選手の数と同数でなければならない。
対戦チーム同士の選手数が異なる場合は、少ない方の人数に合わせる。(最低10人)
- ② 守備者の数と守備位置
守備者は10人で、内、母親は2人とする。尚、母親の守備位置は外野に限る。
10名の守備者は、本塁手と、1塁手、2塁手、3塁手、第1遊撃手、第2遊撃手の5人の内野手と、4人の外野手に分かれる。外野手は、左翼手、第1中堅手、第2中堅手、右翼手に分かれる。
その他の選手は、エキストラヒッター【打つだけの選手】とする。

3. 守備者規程

- ① 本塁手は、打者が打撃をするまで、バッターズサークルの外にいないといけない。
- ② 守備者は打者がボールを打つまで内野(塁間をむすぶ線内)へ入ってはならない。

4. 打撃規程

- ① 審判が「プレイ」と宣告した後、打者はバッティングティーに載ったボールを打つ
- ② 打撃時の軸足の移動は、1歩までとする。故意に2歩以上動かした時は、打ち直しとしワンストライクが、加えられる。ツーストライク後に、これを行った時は、打者は三振である。
- ③ 打者がボールを打たないで、ティーを打った時は、空振りでワンストライクが加えられる。ツーストライクからこれを行ったときは、打者は、三振である。
- ④ 打者が打ったボールが、本塁プレートから3mの円の中にボールがあるときはファウルとする。

- ⑤ ツーストライクからのファウルは、打者はアウトである。
- ⑥ バントやプッシュバントは、認められない。打者はアウトである。
- ⑦ バットの投げ捨てがないよう、各チームで指導する。

5. 走塁規程

- ① 走者は打者が打った後離塁する事が出来る。走者の離塁が早い時走者はアウトになる。
- ② 盗塁は認められない。
- ③ 原則としてスライディングは禁止する。(行うと走者はアウト)ただし、野手との接触を避ける為ならよい。走者の1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる。(走者は塁ベースを駆け抜けた後、進塁の意思がない場合には、野手にタッチされてもアウトにならない)

6. 試合

- ① 2チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守を交代し、最終回を終えたとき得点の多いチームが勝者となる。
(残塁の走者は次回に受け継ぐ。最終回の残塁者はこの限りでない。)
- ② 試合の規程回数は2回とする。
- ③ 球審によって「プレイボール」が宣告されると、試合は開始される。
- ④ インフィールドフライのルールは適用しない。
- ⑤ 試合は全員打撃で行う。
- ⑥ 対戦チーム同士の選手の数異なる場合は、少ない方の人数に合わせる。(最低 10 人)
- ⑦ タッチアップはなしとする。
- ⑧ 同率の場合は、ホームラン競争にて順位を決める。

7. 選手の交代

選手の交代については監督が審判に申し出る。
再出場も可能とする。

8. 得点

走者がその回終了までに、正しく1塁、2塁、3塁、本塁に触れた場合1点が記録される。

9. 得点係

得点が多く入るので、各チームで1名得点係を決めておくこと。

10. コーチャー

各チームは1塁、3塁にコーチャーを出すこと(母親を除く)

11. 背番号及びゼッケン

競技者(打者)は、試合前にあらかじめ打順どおりのゼッケンをつけること。

12. 審判員(ティーボールティーチャー)

- ① 審判は、2人制で行う。2人は球審1と、塁審1塁に分かれる。
- ② 球審は、打者の正面横に立つ。
- ③ 塁審は、1塁手の後方、1塁のファウルライン外に立つ。
- ④ 球審と塁審は、打者走者の進塁が一段落したときに「タイム」をかける。または、捕手が返球されたボールを捕球したその時「タイム」をかけ、次のプレイに移るようにする。

* その他の競技ルールは原則として日本ティーボール協会のオフィシャルルールによる。



愛知県ティーボールのルール Q&A

Q1. キャッチャーはバッターズサークルのどこにいても良いか？

A. ホームベース後方を原則とします。

Q2. 選手の数が多いほうと少ないほうどちらに合わせるのか？

A. 選手数の少ない方に合わせます。

Q3. 外野手の内一人を内野近くまで前進させて守備をさせて良いか？

A. 外野手が内野に来ることは原則禁止とします。本塁手と、1塁手、2塁手、3塁手、第1遊撃手、第2遊撃手、左翼手、第1中堅手、第2中堅手、右翼手を原則とします。

Q4. バッティングティーとボールと一緒に打ったボールが、バッティングサークルを超えました。フェアですか、それともファウルですか？

A. フェアです。バッティングティーを空気と考えます。

Q5. タイムのタイミングは？

A. 打者走者の進塁が一段落したときに「タイム」をかける。または、捕手が返球されたボールを捕球したその時「タイム」をかけ、次のプレイに移るように指示する。
愛知県の大会では、母親も一緒に入り親子の絆を深めてもらうことも目的の一つです。そこで、安全に楽しくティーボールが出来るよう、接触による事故防止のため、早めのタイムを心がけております。主審のタイムの指示に従って下さい。

Q6. 守備妨害とされるケースはどのようなケースですか？

A. 守備者が捕球しようとしている時に、走者が守備者にぶつかった場合です。この場合、走者はアウトとなります。

Q7. 一度交代した選手が、再度出場することはできますか。

A. できます。審判に申し出て下さい。

Q8. 2イニング目(最終回)は最終バッターまで行うのか、勝敗が決まった時点で終わるのか、どちらですか？

A. 勝敗が決まっても、最終バッターまで打順を回してからゲームセットとなります。(愛知県ティーボールのルール)